

# 被災時の事業復旧を早急に目指すための体制構築



## GARAGE CORRECT

業種	所在地	代表者名
自動車整備業	富士川町	津嶋 正
設立年月	従業員数	
令和2年5月	2名(令和6年6月時点)	
ホームページ		
<a href="https://r.goope.jp/correct/">https://r.goope.jp/correct/</a>		

## 1 会社・事業の概要

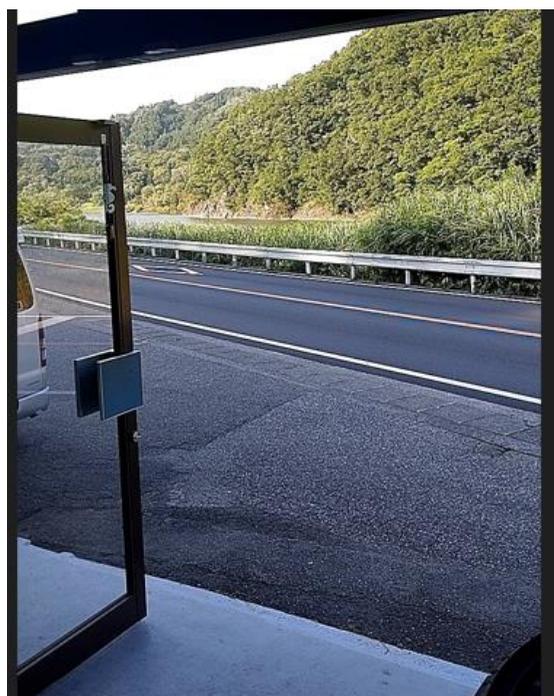
当事業所は、富士川町鞆沢において自動車・二輪車・農機具等の修理点検をしている。一般車両だけではなく特殊車両の修理にも対応している。

## 2 計画策定のきっかけ

日本では自然災害が多発しているため、それに対する備えをしたいと考えた。当事業所が被災した場合に、いち早く事業復旧ができる体制を整えることを念頭に策定した。また、お客さまや地域の影響についても念頭におくなが計画を策定した。

## 3 計画策定の取組について

- ・当事業所は、富士川沿いの国道52号線に立地。このため、地震災害のほか、特に水害が起きた場合の影響や初動対応について検討を重ねた。
- ・安否手段の確保の一つの手段としてSNSのメッセージ機能を取り入れた（計画前は電話のみ）
- ・地震なら震度5以上はリスク想定するが、震度4以下はリスク想定しないなど、自社でどの程度のリスクまでを許容するかが難しかった。



事業所の目の前を流れる富士川 ▶  
水害対策についても検討した。

## 4 計画に基づく実施状況

- ・防災の日に合わせ、事業所内で避難訓練を実施。
- ・非常時の水や食料の準備を行った。また、感染対策として消毒液を追加購入した。
- ・当事業所が利用している保険会社に、地震保険について保険料や補償内容を確認した。加入を検討中。
- ・小さな取り組みではあるが、棚を支えるためのつかえ棒を購入。



## 5 計画策定の効果

- ・避難場所に実際に出向いてみるなど意識が変化した。
- ・事業所所在地域の防災訓練連に参加させて頂けることになった
- ・認定書を事業所入口に掲示しているが、顧客から評価を頂くことがある。

## 6 今後の取り組み

災害が起きた際には計画書の内容を確実に実行していきたい。

## 7 計画を策定した感想

計画書作成を通じ、普段は意識していない様々なリスクがあることが分かった。大変に勉強になった。

## 8 計画策定を検討されている事業者に対してのアドバイス、メッセージ

災害発生後に素早く通常業務に復帰できるか否かは、事業継続力強化計画を作成している企業とそうでない企業で大きな差が出てくると感じています。計画書作成を検討してみたいかがでしょうか。

## 9 策定支援機関から一言

地震や水害で道路が寸断された場合の対応などを検討できた点が良かったと感じています。計画書を定期的に見直すなど、いざという時に行動できるよう準備をしてほしいです。

(富士川町商工会 総務振興課 長田)

